



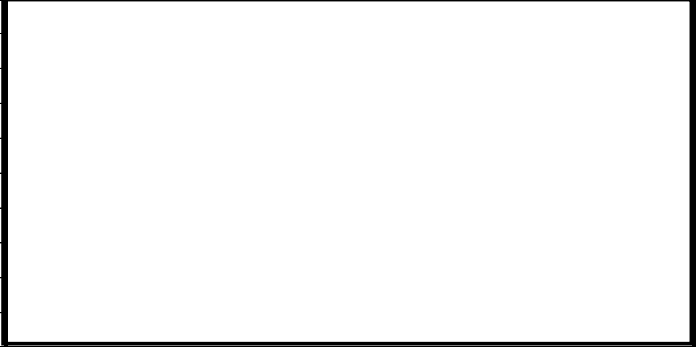
建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

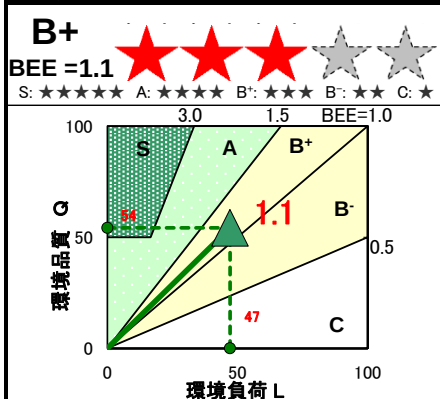
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)天王寺区東高津町計画	
建設地	天王寺区東高津町	
建築用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
敷地面積	739.96	m ²
建築面積	398.89	m ²
延床面積	3,556.26	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上13階
完了年(予定)	2022年5月	

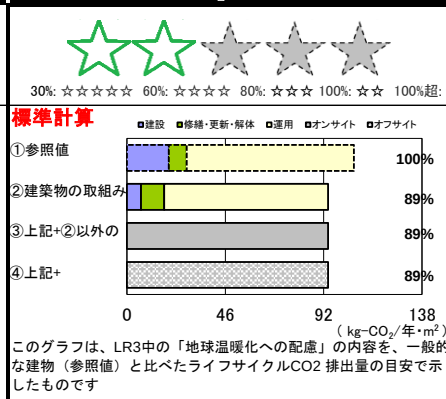
1-2 外観



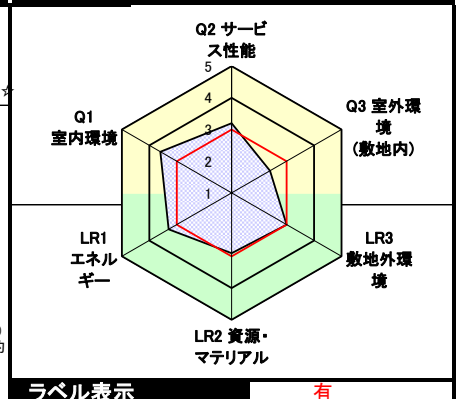
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



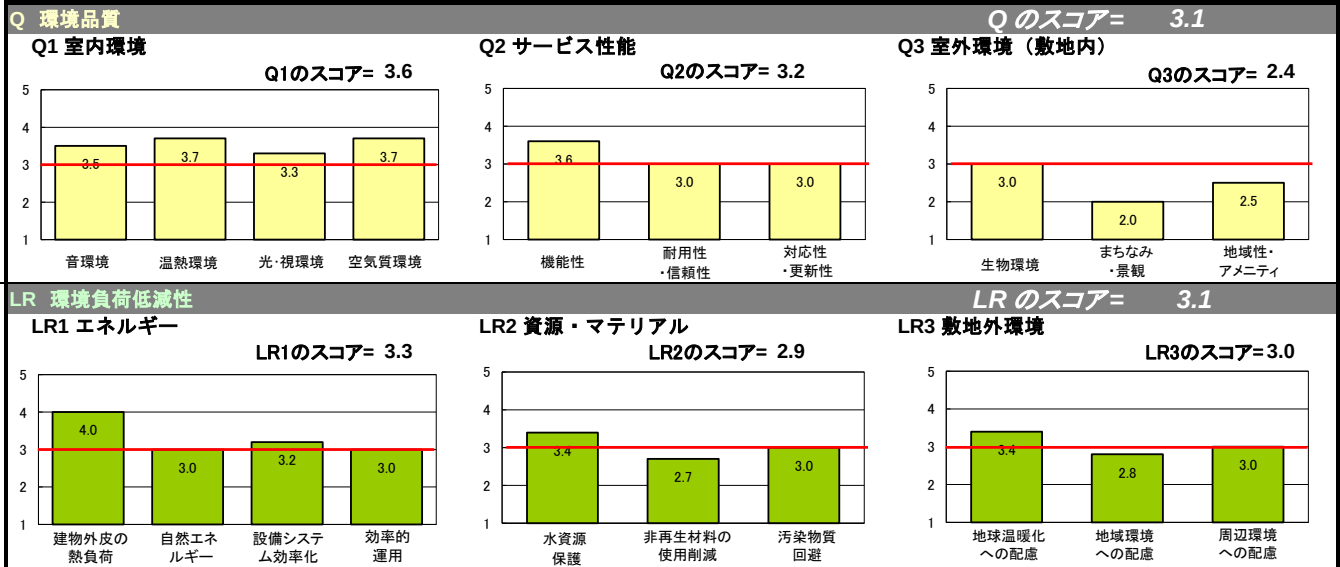
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合
居住者の快適な生活空間の確保のため、遮音性能や外皮性能を高め、かつインターネット環境等の整備をするとともに、ODP=0の冷媒及び発泡剤を使用するなど地球環境悪化を抑制するなどの配慮をしている。

その他
特に無し

Q1 室内環境

開口部にT-2の建具を用い、高い外皮性能を確保するとともに、室内においては昼光および自然換気を多く取り入れることができる。

Q2 サービス性能

各住戸にGbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備し、また、躯体材料においては劣化対策等級3を確保している。

Q3 室外環境 (敷地内)

特に無し

LR1 エネルギー

断熱性能等級において等級4を確保しており、LED電球を用いるなど省エネルギーに配慮している。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上げ材が容易に分別可能とし、資源の使用量削減に寄与している。

LR3 敷地外環境

LCCO₂排出量低減に寄与している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.4
配慮事項	高い断熱性能の確保や省エネルギー機器の採用により地球温暖化への配慮をしている

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 3.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
断熱等性能等級:等級4	
配慮事項	断熱等性能等級において等級4を確保している

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.2
LED照明設備を採用	
配慮事項	節水型機器やLED電球を用いるなど省エネルギーに配慮している

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.98	住宅部分[BEI] 0.98	非住宅部分[BEI][BEI _m] -

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 39 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 72.5 ） m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ） 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 29.0 ） m ²
ウ 設置可能容量	（ 4.4 ） kW
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する → 具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ） m ²
イ 発電容量	（ ） kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 39 ） m ☐ 地上部（ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他（ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> <tr><td>方位（ ）</td><td>高さ（約 ） m</td><td>水平距離（約 ） m</td></tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	共同住宅
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☒ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 29.0 ） m ²
エ 概算年間熱利用量	（ 63,133 ） MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ） m ²
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考